

市川市役所の

# WORK

職員募集

あなたの「やる気」  
いただきます!!



～市川市は平成26年11月3日に、市制施行80周年を迎えます。  
コンセプトは「美しい景観」です。～





大久保 博 市長

# 市長からの ことば

このたびは「市川市役所のWORK」を手にとっていただき有難うございます。

この冊子は、市の仕事や実際に働く職員の姿を紹介することにより、地方公務員を目指す皆さんに市川市への関心を高めていただきたいと思います。市の仕事や実際に働く職員の姿を紹介しておりますので、皆さんが今後進路選択をする上で、この「市川市役所のWORK」が参考となれば幸いです。

地方公共団体においては、地方分権が進んだことにより、果たすべき役割がどんどん増えていっています。もちろん市川市も、市民約47万人の多種多様なニーズに応えるべく、限られた財源の中で効果的かつ効果的な市政運営を行うことが日々求められています。

私は市長就任以来、市民の目線を第一に、常に市民が望むものは何かを考えて市政運営を進めてまいりました。「市民と行政の協働により、市川らしい美しい景観を創出することで都市の魅力を向上させ、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちを実現したいと考えております。

そのためには、『市川市をより良くしたい』という職員の熱い想いが不可欠です。そのような想いを持つ皆さんにぜひともチャレンジしていただきたいと思えます。皆さんと一緒に仕事ができることを本当に楽しみにしています。

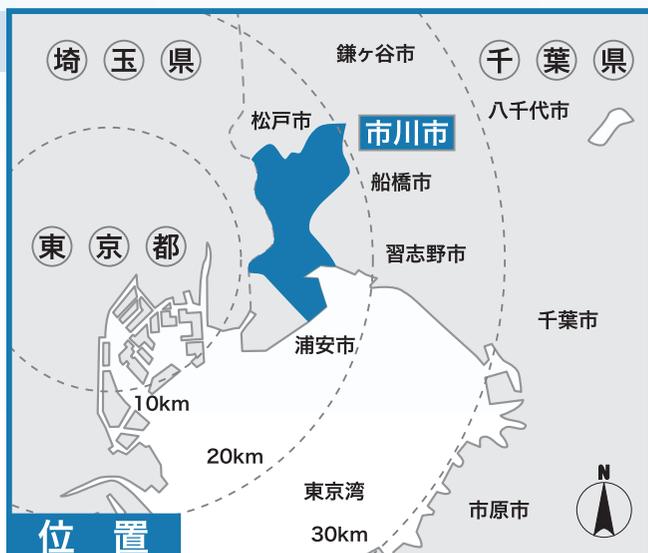


## 市の概要

市川市は、千葉県の西部、江戸川を隔てて東京都と対する千葉県の玄関口です。都心にほど近い文教・住宅都市として発展してきました。都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網の集中する位置にあり、東西方向はJR総武線、京葉線などの鉄道や京葉道路、国道14号などの道路があり、南北方向を結ぶ東京外郭環状道路を現在建設中です。

北部には梨栽培などの農業が盛んで屋敷林などの緑も多く、また学校も多い文教・住宅都市です。南部は、東京湾に臨み京葉工業地帯の一翼を担っているとともに、新しい都会的な住宅都市が形成されています。

市川市では、市の木はクロマツ、市民の花はバラ、市民の鳥はウグイス、市民の虫はスズムシが制定されています。



位置



人口 約469,308人



世帯数 224,403世帯



面積 56.39km<sup>2</sup>

人口密度 約8,300人/km<sup>2</sup>  
(平成26年1月末日現在)

# あなたの「やる気」いただきます!!

市川市は東京に隣接する千葉県の玄関口であり、ベッドタウンとしての役割を担っています。  
都心に位置しながら緑があり、歴史があり、文化があり、色々な一面も持っています。  
市川市には約47万人の市民が住み、一人ひとりがそれぞれの想いをもって生活しています。  
市川市をより安心・安全に、さらに住みよいと思える街へと成長させていくためには、  
市川市に精一杯貢献したいという強い気持ちが必要です。  
そんなあなたのあふれる『やる気』を  
ぜひ市川市でいただきたいと思います!!

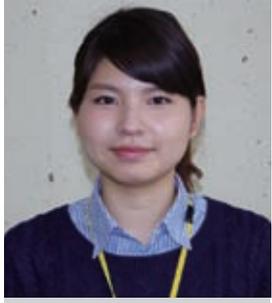






# 「何でも気軽にお尋ねください」

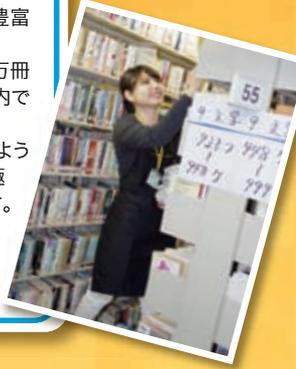
主事



**藤井 彩**  
生涯学習部中央図書館  
平成24年入庁

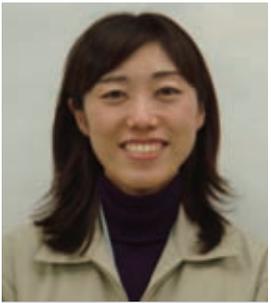
**担当している仕事:**  
図書館におけるレファレンス業務

- ①私が主に担当しているレファレンス業務とは、利用者の方から寄せられる様々な質問や要望に応えるため、図書館に備えている様々なデータベースや司書としての知識を生かして、利用者の方が本当に探している本やデータをご案内する仕事です。経験不足を補うため、先輩方の豊富な知識をいかに吸収するかが主事としての要だと考えています。
- ②質問や要望は複雑多岐に渡ります。一つひとつ柔軟に対応し、何十万冊とある蔵書の中からズバリ利用者の求めるものを見つけ出し、ご案内できたときにやりがいを感じます。
- ③多くの利用者の方と接するので、常に相手の立場に立って対応するように心掛けています。また、迷っている方には「何かお探しですか?」と積極的に声をかけ、何でも気軽に尋ねやすい雰囲気作りを目指しています。
- ④様々なことにチャレンジしてたくさん経験を積むことが、市役所で働く上での強みになります。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



# 「日々学ぶ」

主任



**畑 裕美子**  
街づくり部都市計画課景観担当室  
平成20年入庁

**担当している仕事:**  
景観まちづくり業務

- ①「美しい景観まちづくりの推進」事業を行っています。どうすればその「まち」らしい趣のある景観形成ができるかを考え、地元住民の方々と地域で話し合いながら事業を推進するのが、主任としての私の仕事です。
- ②「まち」に関わる多くの方々と話し合いを重ね、その結果を踏まえた修景整備が終わり、皆で目指した景観まちづくりが実際に形になったときには、とても嬉しく、達成感があります。関わった方々とその喜びを共有できたときは、感慨深いものがあります。
- ③仕事をする上で心掛けていることは、常に「日々学ぶ」という姿勢で仕事に臨むことです。例えば、地元住民の方々と協議する場でも、「まち」の歴史など様々なことを学ぶことができ、そのような機会を大切にしています。
- ④市川市は、緑・海・川などの自然、歴史的風情のあるまち並み、都市としての顔など地域によって様々な表情があり、魅力ある市です。市川市で是非一緒に働きましょう。

先	輩
か	ら

- ①自分の仕事と役割について
- ③仕事をするうえでのマイルール



# 「いつでも笑顔で関係づくり!」

主査



**辻 芳枝**  
企画部ボランティア・NPO課  
平成21年入庁

**担当している仕事:**市川市内で活動するボランティア、NPOや市民活動団体の支援

- ①ボランティア活動を行う市民活動団体と、活動したい市民の方の橋渡しを行っています。学生を中心にボランティア活動体験をしてもらう「夏休み体験ボランティア事業」は、私の誇れる仕事です。
- ②様々な市民活動団体がありますが、その活動が必ずしも市民に知られているとは限りません。私たちが情報を発信・仲介し、市民の方々とその想いに見合った市民活動団体をマッチングできた、そして活動の場で「よかった!」の声を聞いた時、自らの存在意義と仕事のやりがいを感じます。
- ③「公務」という責任の重さを忘れず、市民の方々に心を寄せて、常に市民の方々に一番近い職員であるよう心掛けています。
- ④数年毎にある人事異動は転職に近く、0ベースからの再スタートです。新しい事に前向きにひたむきにチャレンジする気持ちが実は大事かも。心も体も頭も柔軟に働かせ、人のために働くことに喜びと誇りを持つ方、是非一緒に働きましょう。



# 課長

## 「笑顔であいさつとおもてなしは交流の第一歩です！」



麻生 文喜

文化国際部国際交流課  
昭和63年入庁

### 担当している仕事：海外都市との交流事業及び 在住外国人への支援・交流の推進

- ①市川市は、海外5都市（アメリカ・中国・インドネシア・ドイツ・フランス）との間で姉妹友好都市及びパートナーシティを締結しています。私の課では、この都市との交流内容を市民の皆さんに還元したり、在住外国人への支援策などを通じて、多文化共生のまちづくりを推進しています。とにかく、職員全員が楽しく仕事のできる環境づくりは課長の第一の仕事です。
- ②海外都市から来られる公式訪問団の方々に、市民団体の皆様と協働して視察や文化交流などのおもてなしをしています。事業を進める上で市民の皆さんとお互いに一体感を感じながら仕事が進められたときにやりがいを感じますね！
- ③どうすれば市川市が発展するか、市民の皆さんに喜んでもらえるかなど「市川LOVE」を常に意識して仕事をしています。
- ④これからの職員にはグローバルな発想や様々な現場に対応できる柔軟性が必要です。公務員を硬い仕事と捉えずにおもてなしの心を大切にして、笑顔であいさつを交わし、一緒に夢のある市民サービスを考えましょう！



# 主幹

## 「地域との対話を大切にしています」



小川 広行

経済部商工振興課  
平成元年入庁

### 担当している仕事： 市川市の商工業振興、地域ブランド化の推進

- ①私の課では、市内の商工業が元気になる取り組みを進めています。商店会が行うイベントの支援、中小企業や起業家の支援、特産物「梨」や市民の花「バラ」をモチーフにした和洋菓子「いちかわバラ物語」の地域ブランド化の推進など、多岐に渡る事業の進行管理をはじめとしたグループ全体のマネジメントをすることが主幹である私の仕事です。
- ②市内の商工業に関わる組合や商店会など、様々な方々と仕事の達成感を共有でき、皆さんの笑顔が見られた瞬間にやりがいを感じます。
- ③研修で学んだ言葉「プランニングに机はいらない。必要なのは足と目、土地の人と対話する目と口。そして何よりも土地の人の気持ちになりきる心である」をモットーに、「地域に飛び出す公務員」を実践しています。
- ④これからの職員は、多様化する市民ニーズに迅速に対応することが求められます。チャレンジ精神旺盛で、一緒に成長していける「市川愛」を持った皆さんをお待ちしています！



# 副主幹

## 「目指せ！ 真のサービスマン」



若菜 克彦

生涯学習部青少年育成課  
平成4年入庁

### 担当している仕事： 放課後保育クラブ運営事業

- ①放課後保育クラブの修繕及び入所等の運営管理と補助金に関連する事業を担当しています。私がいる青少年育成課では、青少年健全育成を目的に様々な事業を行っています。自らの担当事業の適切な遂行はもちろんですが、課全体の事業の進捗状況を把握したり、働きやすい職場づくりにより職員の士気高揚を図るなど、副主幹は課の番頭役だと考えております。
- ②放課後保育クラブの入所についてのお問合せや要望等が多く寄せられますが、1件1件耳を傾け、お話しさせていただいた後に「ご親切にどうもありがとうございます」と言われることが大きな喜びであり、仕事の活力になっています。
- ③全ては人と人とのつながりです。分け隔てることなく、相手の立場に立って明るく丁寧な対応を心掛けています。
- ④市役所には様々な仕事がありますが、全ては市民のためになることです。市民の声に耳を傾け親身な対応に努めて、垣根の低い愛される市役所を一緒に作っていきましょう。



②やりがいを感じるのはどんな時？

④市川市職員を目指す人へひとこと



入庁1年目の職員3名に、公務員を志望したきっかけや仕事に対する考え方について語ってもらいました!



**小林 陽**

街づくり部建築指導課  
一般行政職(建築)  
東京電機大学大学院

—今の仕事と大学で学んできたことを教えてください。

**難波:** 子育て支援課で庶務を担当しています。大学では考古学を学んでいました。弥生時代のお墓とか。なので、今の仕事とは全く違う分野です。

**竹内:** 私は市民税の賦課徴収を担当しています。会計ファイナンス学科だったので無関係ではないですが、税の知識は一朝で学ぶ必要があったので、入ってから苦労しました。

**小林:** 私は建築職ですが、学んでいたのは都市計画など大きな街のデザイン。今担当しているのは個々の建築計画が適法かどうかをシビアに見ていく仕事です。苦労しながら、でも楽しく仕事をしています。

—仕事を選ぶ決め手になったことって何だったんだろう?

**竹内:** 大学3年生のとき、将来自分がどんな仕事に就きたいのかを考えて、「仕事は一生を懸けるものだから、働くなら自分が一番好きなものを一生の仕事にしたい」と思っただけで自分が一番好きなものと考えたら、「市川」だと気づいたんです。

**難波・小林:** 素敵! すごいね!

**竹内:** 一生を懸けるなら「市川」で働きたい。そう考えたら公務員しかないなって。

**小林:** ずっと住んでるの?

**竹内:** 生まれてからずっと。だから市川以外で働きたくなかったの。

**小林:** 私にとって市川は、親戚がいて地元に近い愛着がある街ですね。

**難波:** 私の地元は通勤通学にとっても不便なところなんです。将来どこに住んで、どんな生活をしてどんな子育てをしたいか、そう考えていくと、都内近郊で人口が多くて、小学校の学級人数も少人数学級にならないような環境がとても魅力的だったので、市川がいいと思いました。

**竹内・小林:** 「すごーい! ? そんなふう考えてたなんて」(驚)

—市川にいるんな魅力を感じたわけだけど、なぜ公務員だったの?

**小林:** ゼネコンで大きな複合施設を設計するような仕事に就くことも考えたんですが、私が学んできた「(環境に作用されやすい)お年寄りや子どものための福祉的なまちづくり」は、よりスケールの大きいまちづくりに必要とされるものと考えたので、それで「まちづくり」なら市役所、だから「公務員」かなと。

**難波:** 民間企業で働いていたとき、純粋に会社の利益のために仕事をしていると、お客様の利益とぶつかって、それに悩んで自分も消耗して、何のために働いているのか分からなくなったときがあったんです。もちろん、市役所も市民の皆さんに税金を納めていただいたり経費を削減したりするコスト意識は必要ですけど、そこから得られたものはどこまでか必ず市民全体に還元される、そんな公共性・公平性が一番魅力的に感じました。

**竹内・小林:** 「面接のお手本のような答えが返ってきたね!」(大笑)

—実際入ってみて、どう感じてるかな?

**難波:** 民間企業の営業職は、自分で顧客を発掘して営業成績を伸ばしていくんですが、全て自分が基準で仕事でした。今は1年目の新規採用職員ということもあって、まだ指示されたことをこなしていくことが中心。正直もどかしさを感じることもあるんですが、仕事すること自体でも好きなことで、先輩方から色々なことを吸収して自分の力をフルに発揮できるようになれたらいいなって考えてます。

**小林:** それ、ちょっとわかります。でも仕事自体は楽しいし、やりがいはあるよね。

**竹内:** 入ってすぐ繁忙期だったので、みんなでたくさん残業もしました。世間のイメージとは違うなってこともよくわかりました。

—職場の人間関係はどう感じてるかな?

**難波:** これから先が心配になるくらい恵まれた環境で仕事をさせていていただいているなって思います。きちんと相談に応じてくださる方ばかりで、本当にありがたいです。

**小林:** 技術系にも思ったよりたくさんの女性職員がいて、部署を越えて交流しています。「昔はね、現場に行くのにもたいへんだったのよ!」とか「電話に出たら男性に代わって」とか言われたりした」なんて話も聞きました。

**竹内:** 昔は「お茶出し」もあったらしいね。

**難波:** 今は考えられないことだね。

**小林:** そんな過去の体験談を聞くと「今は恵まれているな」と思いますけど、周りの皆さんの理解があればこそで、それに奢らさずがんばらなきゃなって思ってますよな。と言っても、県内初の佐藤副市長も元は生え抜きの女性建築職。女性の目から見てもかっこいいんですよ。

—いずれはみんなもキャリアを積んで責任も背負えるような女性の先輩になっていくと思うんだけど、身近に目標となる先輩はいる?

**難波:** 「この人に聞けばきっと答えが返ってくる!」と言われる先輩が身近にいます。色々な方面に関心を持っていて知識も豊富で、だからこそ皆に頼られるという存在です。陰ではきちんと勉強しているんだろうなと思います。

**竹内:** 私にもいますよ! 司令塔のような存在感があって、税の知識がすごくてバリバリ仕事をする先輩なんですけど、後輩の失敗にも優しく注意してくれる穏やかな人。自分も先輩のようになりたいけど、道のりはまだまだ遠そう...

**小林:** 私にも師匠のような建築職の先輩がいます。上司にも意見を求められますし、窓口応対も上手です。質問しても、私が質問を言い終えるまで「待っていてください」みたいな。そこで教わったものは、次に活かせるようにきちんと理解してもらって聞いています。

—懐が深い先輩たちだね。

みんなもそういう懐を作っていけるかな?

**難波:** 掘り出します!(大笑)

—そんな先輩たちには、何か共通点があるんだろう?

**難波:** 見ていると、そういう先輩って仕事を楽しんでますよね。

**小林:** 積極的ですよ。例えば、排除しようというより吸収していこう!という前向きな感じ。

**難波:** 他にも、任せてもらえるならあれもやってみたい、これもやってみたいというような。そんな積極性を感じますよね!

—ところで、「女性だから」って気を遣っていることはある?

**竹内:** 自分では自分のことを気の利かない方だと思うけど、笑顔で話したり、周りの空気が明るくならないとは思っています。逆に、女性だからといって遠慮されてしまうとも困ります。むしろ男性と一緒にやってみようというつもりで仕事してます。

**小林:** それ、わかります。今の部署は、大雨が降ったときの水防体制や雪かきが必要なときに出勤がかかることがあるんです。先輩方と同じように出勤するつもりですけど、上司や先輩から(今回は)出なくていいと言われたりするときは、申し訳ないと思いつつ、先輩方の配慮に対して感謝の気持ちを忘れないようにしていますね。

—「自分らしく」という感じなのかな。

**竹内:** そうですね。女性、男性というよりも。

**小林:** その方がお互いに仕事しやすいと思います。

—最後に、未来の後輩に一言ずつメッセージを。

**難波:** 自分を飾らないで欲しい。よく見せようとして誇張して入ってしまうと、自分も周りも気疲れてしまうし、お互いに素を見せ合って初めて一緒にいい仕事ができると思います。

**小林:** 一緒に働きたいと思える人がいいですね。最初は知識がなくてもしょろがなくて。そこで「分かんなければ聞けばいいや」ではなく、「一緒に調べよう、一緒に学ぼう!」という人は、一緒に働きたい!と思えます。あと、就職前に市川のことをもっと知っておけばよかったなと思いました。知ってはいるんだけど、仕事をする上ではもっともっと調べておけばよかった!と思えることがいっぱいありましたね。

**竹内:** 自分の個性を、ありのままを大切にしてください。それと「市川市のごが好き!」という気持ちをもって一緒に仕事をして行きましょう!

—新人であっても、よく人を見ていることが分かりますね。様々な人たちが集まる社会の中でお互いを活かすためには、人として認め合うことが欠かせません。そのためには、「私はこういう人間です!」と自分の素を見せる勇気と、それを受け止める覚悟が必要。それは「一緒に働く仲間」になるための儀式といっても過言ではないのです。

**採用担当者の本音**



よく耳にする「人物重視」という言葉ですが、その「人物」はありのままの本当のその人である必要があります。

面接試験ではいかに面接官に自分の良さを伝えるかがポイントとなると思いますが、よく見せようとする姿は不自然に映るもので、逆に自分のマイナス面を見せないように取り繕う姿も面接官には透けて見えてしまうものです。

ぜひ皆さんには、私たちにありのままの本当の姿を見せてください。素の自分を見せて、ダメなら諦める。それくらいの気持ちで受験して欲しいと思っています。就職すること自体が難しいことの中で、公務員を目指す皆さんの「何とかして合格したい」という気持ちは痛いほど伝わってきます。

しかし、大事なことは、合格がゴールではなく新しいスタートだということです。最終合格を得たその時点で、市川市職員として全ての市民のために職務に専念していく、そういう人生への道筋が見えてくるのです。

自分のストロングポイントもウィークポイントも一緒に働く同僚には理解してもらいたい、そんなまっすぐ伸びしろを感じることができる人を、そして、心の底から「市川市が第一志望です!」と言ってくれる人を、私たちは望んでいます。

市川市は、昭和9年11月3日に市川町・八幡町・中山町・国分村が合併し、  
千葉県内では千葉市、銚子市に続く3番目の市として誕生いたしました。

その後、昭和24年には大柏村、昭和30年に行徳町、昭和31年に南行徳町と合併し、  
公用水面の埋立てを経て、現在の市域を形作るとともに、緑豊かな文教都市、  
快適で利便性の高い住宅都市として大きく発展してまいりました。

そして、本市は、平成26年11月3日に市制施行80周年を迎えます。

## 市川市役所のWORK

**発行** 平成26年3月 市川市役所 総務部 人事課  
〒272-8501 千葉県市川市八幡1丁目1番1号  
TEL 047-334-1102

○掲載内容については市川市役所人事課にお問い合わせください。  
○掲載されている広告は情報としてご活用ください。  
○広告内容については各広告主にお問い合わせください。